

## 競技を通じて、交通安全意識の向上を

～高齢者自転車安全運転競技大会が開催されました～

11月21日から10日間にわたり実施された「高齢者交通安全県民運動」最終日である11月30日（金）、徳島市の千松自動車教習所において、高齢者自転車安全運転競技大会を開催しました。

この大会は、自転車の競技を通じて交通安全意識を高めてもらおうと、県老人クラブ連合会と県、県交通安全協会が毎年行っているもので、今回で28回目を迎えます。

本年度も、県内の各警察署管内から13チームが参加しました。



競技は、会場内に設置されたコースの安全走行（安全確認や手信号）を行う「実技」と、交通ルールや自転車の安全な乗り方等から出題される問題（〇×方式）を解く「学科」があり、これらの総合得点によって順位が決められます。

実技テストは、開会行事の後、松島審査員（県警察本部）からコース説明（コース及び注意事項）を聞き、抽選であらかじめ決められた走行順で行われました。各選手は緊張した面持ちで走行、「前よし、左右よし、後ろよし！」と掛け声をかけながら自転車を運転する選手もおられました。

続いて行われた学科テストは、会場を屋内に移し、各チーム5名が相談しながら25問を解答、難問の連続に各チームとも制限時間いっぱいまで確認を行っていました。

- （出題例）例題① 自転車通行可能な歩道が左右両方にある場合、どちらの歩道を通行しても構わない  
例題② 白地に青の左向きの矢印の標識があるときは、前方の信号が赤や青であっても左折できる

（解答）①〇 ②〇

学科テストを終えると、競技が終了したこともあって、各選手は一様に安堵の表情を浮かべていました。その後、得点の集計作業が終わるまでの間、三好市の交通指導員による腹話術を使った、楽しい交通安全講習も行われました。

集計の結果、わずかの差で上板町老人クラブ（板野警察署）チームが優勝、第2位には昨年度優勝チームである東みよし町老連交通安全部（三好警察署）が、第3位には羽ノ浦サイクリングクラブ（板野警察署）が入り、片山県老連会長から上位チームの各選

手にメダルが贈られました。

最後に、県警察本部 澤口交通参事官から参加者に対し、「『右よし、左よし、後ろよし』」とかけて『大御所の演歌歌手』と解く、その心は『よしいくぞう！（吉 幾三）』との謎かけが贈られ、全日程を終了しました。

<競技大会ハイライト>

